



シルバー人材センターシンボルマーク

このマークは、全国のシルバー人材センターで働く高齢者が広く連携し、共に働き、共に助け合っていくことをめざして作成したものです。

デザインは、シルバー（Silver）の「S」とセンター（Center）の「C」で飛翔する鳥と、動き出す人の姿を表現しています。

シルバー安曇野

第50号

平成27年1月1日

発行

公益社団法人

安曇野シルバー人材センター

住所

安曇野市豊科 5126-1

TEL 0263-72-5800

FAX 0263-73-6484



植付後の玉ネギ圃場

新年のご挨拶

理事長 横山 幸久



新年あけましておめでとうございます。会員の皆さまには、平成27年の新春をお健やかに迎えのことと心からお慶び申し上げます。

安曇野市並びに地域の皆さまにおかれましては、シルバー人材センターの事業にご支援とご理解を賜り有り難く感謝しお礼を申し上げます。

昨年は夏から初冬にかけて、南木曾の水害、御嶽山の噴火、県北部の地震など自然災害が続き、犠牲になられた方を悼み、被災地の方々に心からお見舞いを申し上げます。

センター発足してから、先輩たちが努力して発行してきた「シルバー安曇野」は50号になりました。センターの目標であります高齢者の就業の場、生きがい対策と健康づくりなど会報を通じての役割を果たしてきました。これからも会員の皆さまに親しめる紙面にしてまいります。

衆議院の選挙でアベノミクスは道半ばで、円安・株価の上昇・景気回復など地方には温度差がありシルバー人材センター事業は厳しい環境におかれています。当センターとしては、安全・適正就業（事故ゼロ・法令順守）と会員募集、就業開拓に取り組み、公共をはじめ地域の皆さまのご支援、並びに会員の皆さまのご努力をいただき、11月末の事業実績は前年度並を確保できました。

今年も「安全は全てに優先する」を基本に「けがをしない・させない」を合言葉に、みんなで取り組み地域の皆さまの信頼を得るように努めてください。昨年の事故をみますと「安全第一」に徹しての欠如がみられ、一歩間違えば重篤事故に繋がります。

新年にあたり、安曇野市の発展と会員並びにご家族の皆さまのご多幸とご健勝をお祈りし、ご挨拶とさせていただきます。

平成 4 年 6 月、社団法人安曇野シルバ－人材センターが設立発足いたしました。私も 2 年後の平成 6 年 3 月、シルバ－人材センターに加入させていただき、豊科支所において管理業務に就労して、受注先からの業務内容等の受付、関係書類の作成等と忙しい日々を過ごしたことが思い出されます。それから 20 年間私とシルバ－人材センターとの関わりが始まりました。会報の発行等行事について振り返ってみますと、設立に併せて会報「シルバ－安曇野」の創刊号が発行されて以来、号を重ね記念する 50 号の発行に至ったことは、ひとえに関係者の投稿などの協力と努力があったからこそと敬意を申し上げます。

また、人材センター発足後の 5 周年、10 周年、20 周年の各節目の記念式典には、会員又は理事として参加し、記念誌の発行にも参画でき感慨深いものがあります。シルバ－人材センターの基本理念であります「自主・自立・共働・共助」のもと健康で安全就労のできることに幸せであると思えます。互助会活動も豊科地区では、皆さまの要望によりマレットゴルフサークル、トレッキングサークルは、愛好者で楽しく活動しております。手芸サークル、絵手紙サークルは月 1 回のペースで作品を作り、総会や地区懇談会に展示して披露しています。料理サークルも年 2 回実施しております。各サークルとも参加者が減少しており、今後の活動に不安を感じるころであります。活動の維持発展のために多数の方々の参加を期待します。

更に今年度で 20 回となりました親睦旅行の目的は、健康長寿のため常日頃の心身の疲れをいやすとともに会員相互の親睦を更に深めることにあると思えます。私は、大勢の方との出会いで得た知識や教訓を大切にし、今後の人生の糧にしたいと思えます。安曇野シルバ－人材センターの益々の発展を祈念いたします。



新年のご挨拶

安曇野市長 宮澤 宗弘

明けましておめでとうございます。皆様方におかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。旧年中は横山理事長をはじめ安曇野シルバ－人材センター役員並びに会員の皆様には、市政全般にわたり格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

貴センターに、毎年多くの仕事方が市民や企業から寄せられておりますことは、会員の皆様への期待と信頼の表れであり、何事にも替えがたい誇りであると存じます。少子高齢化が急速に進む今日において、その活動は、就業を通じて地域の活性化や福祉の向上に寄与されており、高齢者の健康維持や社会参加の促進等、高齢者社会を支える中核的な組

織として、担っていただく役割は一層重要なものとなっております。

さて、安曇野市は今年、市制施行 10 周年の節目を迎えます。この節目の年に、「市歌の制定」や、「信州・安曇野ハーフマラソン」「全国名水サミット」の開催などを通して、安曇野を全国へ発信してまいります。

さらに市では、健康長寿と活力のあるまちづくりの一環として、今後ともシルバ－人材センターの運営を支援して参りたいと考えております。

結びに、安曇野シルバ－人材センターの益々のご発展と平成 27 年が会員の皆様にとって、健やかで実り多い一年でありますことをご祈念申し上げます。年頭のごあいさつといたします。

明けましておめでとうございます

本年もよろしく
お願いいたします

今年も、親切・丁寧の仕事で
信頼を高めましょう
みんなで、安全確認 事故ゼロを
目指しましょう

- | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------|------------|------------|---------|-------|-------|-------|-------|--------|--------|-------|-------|-------|-------|------|
| 理事 横山 幸久 | 副理事長 赤澤 喜夫 | 専務理事 飯沼 常雄 | 理事 奥村 勲 | 山田 詔一 | 小林 義明 | 有賀 義孝 | 石川 照義 | 佐々木 胤明 | 広田 万寿美 | 浅川 泰通 | 宮島 寿宏 | 山田 裕也 | 深石 武雄 | 職員一同 |
| 監事 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 |

平成 26 年度 事業実績 (4月～11月)

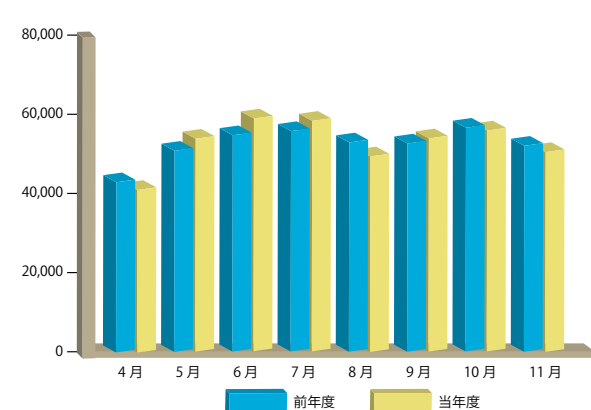
4 月から 11 月の事業実績は、景気回復の実感は少なく、消費税のアップと適正就業の見直し等によりセンター事業を取り巻く環境は、依然厳しい状況にあります。本年度は安全・適正就業と会員募集・就業開拓に取り組み魅力あるセンターづくりを推進しております。4 月から 11 月までの実績 4 億 3702 万円、前年比 272 万円の増を収めました。

部門別に見ますと、受注件数は前年比 239 件 (6.1%) の増になりました。事業実績は公共は前年比 9.9% の増、民間事業所は前年比 1.3% の減、一般家庭は前年比 0.3% の減で、就業開拓の取り組みの効果がより事業実績は前年比 10.6% となりました。引き続き会員の皆様のお力により会員の募集と就業の拡大を図ってまいりますので、小さな情報でもぜひご紹介をお願いします。

● 4 月～11 月 就業実績

区分	本年度	前年度	前年比
会員数	939 人	934 人	100.5%
就業延日人員	85,805 人	86,299 人	99.4%
就業率	93.0%	94.4%	
受注件数	4,143 件	3,904 件	106.1%
公共	7,141 万円	6,496 万円	109.9%
民間事業所	27,073 万円	27,418 万円	98.7%
一般家庭	9,488 万円	9,516 万円	99.7%
計	43,702 円	43,430 万円	100.6%

● 契約金額の推移グラフ



● 契約金額の推移 (単位: 万円 前年比%)

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	計
本年度	4,274	5,599	6,120	6,065	5,142	5,607	5,810	5,085	43,702
前年度	4,476	5,288	5,688	5,795	5,503	5,475	5,882	5,323	43,430
前年比	95.5	105.9	107.6	104.7	93.5	102.4	98.8	95.5	100.6



野沢菜収穫作業（豊科地区）



玉ネギの苗とり



玉ネギ植え付け作業（三郷地区）



玉ネギ植え付け作業（豊科地区）

地域においては、介護をはじめとする少子高齢化への対応、子育て支援や地域経済の活性化、環境問題等、多くの課題を抱えており、シルバー事業においても、これらのニーズに対応して行くことが求められています。多くの課題等がある中で、農業を取り巻く環境は、高齢化と後継者不足、販売価格の低迷など厳しい状況にあり、耕作放棄地や遊休農地が増加しております。その有効活用として、遊休

農地50アールに地域特産の玉ネギやトウモロコシ、野沢菜などを栽培し、就業機会の確保と会員の拡大につながる「地域ニーズ対応事業」が7月からスタートしました。この事業は、国と市の補助を受けて取り組むもので、地域の子どもや市民の参加をいただき講習会など実施して高齢者の健康づくりや生きがいづくりにつなげます。また、子どもたちが植え付けや収穫を体験することで農業の楽しみ

地域ニーズ対応事業 7月からスタート

人身事故発生

全会員で安全の徹底を！

昨 年9月3日、当シルバー人材センターの会員が、芝刈機で芝刈り作業中、飛び石を市民の方の後頭部に当てる人身事故を起こしました。幸いにも打撲程度で済みましたが、一歩間違えれば重大事故につながるとことでした。二度とこのような事故が無いよう、安全作業のために細心の注意をお願いします。

人身事故の発生という最悪の事態を受け、緊急の安全・適正就業委員会を10月21日に開催しました。会議では、委員から事故防止のための、提言が何点か出されました。詳細は、別にお知らせする予定です。「安全は全てに優先する。」の意識で、全会員で事故ゼロを目指しましょう。

本 年度、当センターでは、芝刈り、草刈り、剪定作業での事故が、発生しています。（別表を参照）特に、これらの作業に従事する会員は、安全を意識した就業をお願いします。本年4月から11月まで事故発生は、表のとおりです。

●傷害事故

発生日	事故の状況	傷害部位	傷害程度
4月14日(男) 70歳	個人宅の剪定作業中、1m 50cm程の高さの梯子から落下。	第2腰椎の圧迫骨折	全治 2か月

●賠償事故

発生日	事故の状況	賠償程度
7月14日(男) 74歳	国道沿いの歩道を刈払機で草刈り中、走行中の軽乗用車の窓ガラスを飛び石で破損した。	軽自動車の後方窓ガラス破損
9月3日(男) 73歳	施設の芝生を芝刈機で芝刈り中、飛び石をベンチに座っていた人の右後頭部に当てた。	後頭部の打撲
9月10日(男) 79歳	小学校職員駐車場の隣接地を刈払機で草刈り中に、飛び石で駐車中の車の後部窓ガラスを破損した。	普通自動車後方窓ガラス破損
11月4日(男) 79歳	施設の芝生を乗用芝刈機で芝刈り中、走行中の車の車体を破損した。	軽自動車の車体を破損

安全パトロール 7月31日に実施

7 月31日に、剪定作業、除草作業など、毎年事故の多い現場を中心に安全パトロールを実施しました。午前中は、長野県シルバー人材センター連合会の主催



県シ連委員らによる聞き取り調査

で、県シ連の森推進委員、酒井次長が、豊科・穂高地域の現場を巡回しました。各現場では、チェック表に基づき、点検し、作業員にも、安全ミーティングの実施状況等について聞き取り調査を実施しました。当センターの安全委員も同行し、現場を確認しました。午後は、当センターの主催で、委員が、三郷及び堀金の現場を巡回し、作業をチェックしました。各現場では、概ね適正に作業が行われていました。しかし、一部には、作業手袋の未着用が見られました。全ての現場で、一層の安全就業をお願いします。来年度は、パトロールの実施回数を増やすことを検討しています。



細萱保育園児によるトウモロコシ収穫体験



園児の収穫体験が将来の農業活性化に

を知ってもらい農業の活性化につながります。この補助事業は3年間を予定しており、市や農協等と連

携して「農業を軸にした地域の活性化」に取り組みます。

長野県シルバー人材センター連合会主催

「安全・就業推進大会」へ参加

10 月14日、塩尻市において、安全・適正就業推進大会が

開かれ、当センターからは、安全・適正就業委員会の正副委員長と委員及び職員7名が参加しました。

県

の中島連合会長、大月委員長の挨拶、続いて安全適正就業標語の表彰と北信教育事務所指導主事による講演と体操指導がありました。その後、県の浅川安全・適正就業パトロール指導員から「安全就業」について研修がありました。その中で、次の点を守ることが重要とのことでした。

「事故を起こさないために」

◎**まずは、自らの心掛け・意欲が大切**

事故は、油断・不注意・確認不足など作業者自身の意識が、第一の原因です。従って、安全意識を向上させる意欲が大切です。

◎**安全ミーティングの励行を**

就業前に必ず「安全ミーティング」を行い、作業方法・手順を確認し、安全装備と服装の点検を行います。

ボランティア活動を実施

平成

26年度のボランティア活動が、10月に五地域で、実施されました。雨天のため、予定より一週間延びた地域もありました。多くの会員の参加で無事活動を実施することができました。この活動は、毎年10月の普及啓発促進月間に併せて実施しているもので、未参加の会員は、来年度は参加をお願いします。



穂高地区のボランティア活動（礪山公園）

地区懇談会に参加を

平成26年度の地区懇談会は、2月末から3月初旬に各地区で開催予定です。通知を差し上げますので、大勢の皆さまの参加をお願いいたします。

平成 26 年度 ボランティア活動

地区	実施日	実施場所	作業内容	参加人数
豊科	10月 3日	こども病院	剪定、草刈り、草取り	27人
穂高	10月 29日	礪山公園	〃	28人
三郷	10月 3日	福祉センター	〃	47人
堀金	10月 11日	保健センター	〃	25人
明科	10月 18日	旧明科公民館	〃	30人

平成26年の配分金支払証明書について

平成26年1年間（1月～12月振込）の配分金支払証明書を1月15日頃圧着ハガキでご自宅へ郵送致します。

配分金の振込日

- 1月分は2月20日（金）
- 2月分は3月20日（金）
- 3月分は4月20日（月）
- 4月分は5月20日（水）
- 5月分は6月19日（金）
- 6月分は7月17日（金）

職員の異動

退職 12月31日
 総務担当 三澤 ふじ子
 採用 1月1日
 総務担当 佐々木 信子

お悔やみ

草深 浩 様 平成26年10月15日
 ご逝去を悼み、心よりご冥福をお祈りいたします。

編集後記

平成27年の新春を清々しい気持ちでお迎えのことと存じます。昨年一年をふりかえって、それぞれに様々な出来事があったかと思いますが、新春を迎え新たな気分でスタートできることを喜びたいと思います。当シルバ－の会報も平成5年に第1号を発行してから今回50号の節目を迎えました。

シルバ－本来の理念を大切にしながら地域に貢献し、会員相互の心身の健康維持を保って、更なる発展ができるようがんばっていきましょう。今号は、地域ニーズに応えるべく、市民タイムスにも取り上げられた「農業分野」進出で玉ネギ栽培を始めたことを掲載しました。これからも新鮮な発想からシルバ－の更なる充実を願い、中味の濃い会報にしたいと考えています。

佐々木 鳳明 小林 義明
 浅川 泰通